



リサイクルを実現するためのお願い

モバイルバッテリーや電子タバコなどに使われるリチウムイオン電池が正しく分別されていないことが多いです。誤った分別をされた場合、機械の中で発火し火災の原因になりますので、正しい分別にご協力をお願いします。

リチウムイオン電池の正しい捨て方

- OK リサイクル協力店舗に持っていく
- OK 集積所へ出すなら乾電池専用袋に

もった、現在の環境センターが稼働を開始しました。ごみ処理施設だけでなく、余熱を利用した温水プール「エコパ」や環境学習館「えこらぼ」を併設し、健康の促進や環境学習の場としても利用されています。

町のごみ処理が本格的に開始したのは昭和47年頃。人口の増加と多様化するごみに対応するため、旧三芳町清掃工場が建設され、衛生的な処理が行えるようになりました。そして、平成28年。循環型社会の形成に向けて、より高度な廃棄物発電や、多くの資源を選別する機能を

回収 収業者の手で回収されたごみは、びんや布類など一部を除き、ふじみ野市駒林にある「ふじみ野市・三芳町環境センター」へ運ばれ、処理されます。

ふじみ野市・三芳町環境センター

リサイクルのヒミツ

問：ふじみ野市・三芳町環境センター ☎ 049-257-5374

私たちが集積所に出したごみが、どのようにリサイクルされるのか、処理をしている環境センターのヒミツに迫ります。

- NG パソコン
- NG 危険物 (ガソリン・灯油・塗料・農薬など)
- NG 処理困難物 (ピアノ・仏壇・消火器・自動車部品など)
- NG 産業廃棄物 (農機具・農業用資材・建設廃材など)
- NG 家電リサイクル法対象商品 (テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機など)

主な 処理できないもの

1年間の発電量

約 **4300** 世帯分



ごみを燃やして出る熱で蒸気を作り、タービン(羽根)を回して発電しています。作った電気は施設内や、エコパのプールで使ったり、電力会社に販売しています。電気の販売で得られる収入は年間1億円にもなります。

貯められるごみの量 三芳町とふじみ野市のごみ

10 日間分

回収したごみを貯めておくごみピット。焼却時に燃えやすいように、24時間自動でかき回しています。

ごみピットの中

ふじみ野市・三芳町 環境センター

ここが三芳町とふじみ野市のごみを共同で処理している環境センターです。



楽しく環境学習

環境学習館「えこらぼ」ではごみ処理の見学や展示品で体感しながら学べます。



リサイクル品を **格安** で販売

不用品として回収された家具や自転車などのうち、まだ使用可能なものは、修理して「リサイクル工房」で販売しています。

1日で焼却できるごみの量

142t

1日で71t焼却できる炉が2つあります。もやすごみはごみピットからこの炉の中に投入され、約950℃の高温で焼却されます。



乾電池



袋に入れられた乾電池を作業員が選別しています。乾電池以外のもを丁寧に取り出します。

飲み物のかん



飲み物のかんは磁石の力でアルミとスチールに分け、約150缶ずつ板状に押し固められます。

ペットボトル



運び込まれたペットボトルは収集車から一気に取り出され、ショベルローダーで1か所に集めます。

粗大ごみ



家具のねじやスプリングなどを作業員が一つひとつ丁寧に外し、分別しています。

もやさないごみ



作業員が手で選別します。ごみの種類で分けたり、家電を解体して、細かく分別しています。

環境センターに運び込まれた、リサイクルできるごみがどのように処理されているのか紹介します。

リサイクルの様子を見てみよう

ごみの種類ごとに処理しているよ

